



グリーンテック 2024 視察

会場 アムステルダム RAI

日付 2024年6月12日

オランダを中心に世界各国からの出展者で賑わう、施設園芸技術見本市。6月11日から13日まで3日間アムステルダム RAI 見本市会場にて開催。ホーティカルチャーインダストリーの最新技術と製品が展示される。昨年は燃料費高騰を受けた節エネルギーコンセプトやドローン商品が目についたが、今年は施設園芸界でも AI を銘打った展示物、オートマ化、ロボット技術や、サステナビリティを掲げた製品が目白押しであった。大型のロボットシステムなどは展示会とはいえ、圧巻であった。



一般的なプレスニュース、出展者一覧表はグリーンテックのHPをご覧ください。

<https://www.greentech.nl>

GreenTech は、園芸技術に携わるすべての専門家が集まるグローバルな出会いの場です。

GreenTech は、園芸チェーンの初期段階と、生産者に関連する生産問題に焦点を当てています。GreenTech は年に2回の展示会を開催しています。(ホームページより抜粋)

Menno Florades



ドイツ、ハンブルグの消毒剤のメーカー。

情報は数年前に報告済みですが、薬品の登録は複雑なのでサプリメントとしての可能性も考えられる。同社は温室のクリーナー製品も揃えたようなので、興味深い。

Ellepot

デンマークのメーカー。プラグ製品。スリーブ（ガター）タイプが目新しい。
トータル栽培システム。野菜、葉物の栽培に、用土を洗う必要がないというのがポイント。



スリーブタイプ：動画 <https://www.youtube.com/watch?v=8-AkvKsqvNo>



Skytree

昨年のグリーンテックアワード受賞者。CO2ユニット。

マシン本体価格は高価という評価もある一方、1キロあたりのCO2を作るためのエネルギーコストは他に比べ利点があるという。エネルギー源は電気もしくは、温水（自家発電など）も使用可能。



GrowGlide

アメリカ製モバイル型栽培ユニット。いわゆるプランツファクトリー。
薬用マリファナ栽培（特にカリフォルニア州）で成功を納めているという。
ベンチレーションユニットが特別とのこと。



Maryniaczyk

ポーランドのトマトトロリーのメーカー（トマトフックも製造）
ハウス内の作業用カート、電動。



Meteor system メテオールシステム

日本には紹介済みのガターシステム。

今回のショーでは、他の商品：スラブ商品や液肥などとのコラボ展示にも多く使われていたのが目立った。オランダではまだまだ定番のシステムということ。



BATO / tomato hook

プラスチック製品で有名なバト。

数年前に有名トマトフックメーカーを吸収。今回もブース脇に展示。

白以外にも黄色や赤の紐を揃えているが、赤白まだらタイプも。

これは生分解 BIO タイプとか。日本のような気候地域用に UV 強化タイプもあり。



Oerlemansplastics

プラスチックメーカー。CO₂チューブなどが有名で日本にも輸出経験豊富。
環境問題の流れからここも生分解性タイプも揃っている。



Nieuwkoop

アールスメア在の各種測定器、多種多様なアクセサリーを揃えている。
鉢物の水分メーター、pHメーター、ルクス測定器など。
ランやトマト栽培用のヨーヨー式吊り下げ器具は人気商品。



前ページより続く



👉 オランダ現場で使用の PAR ライト測定器：現地販売価格約 2000 ユーロ

Lumiforte

遮光剤・遮熱剤メーカー 弊社取り扱い SUDLAC 社の親会社。
今回のショーでエコシリーズ発表とのこと。詳細は別途。



ポイントはトップクリアのエコタイプ。輸送のネックであった IMO 制限がこれで解消される可能性もある。

(正式名称不明) インドとドイツの大学と Menno などの協力プロジェクト
 テキスタイル (布?) リサイクルのシステム。水耕栽培用らしい。
 布は洗濯後再使用可能というエココンセプト。



Biota **ビオタ** 植物由来の点滴栽培用肥料
 オランダウェブが、現在日本にも紹介中。
 鉄の UV 分解可能のタイプもあるとのこと。



Profile



アメリカのファイバーメーカー。
 日本、中国への進出可能性に力を入れている。9
 月に来日希望のよう。
 オランダでプラグメカ (クイックプラグ) を買
 収したというニュースもある。

<https://www.profilehorticulture.com/>

2024大賞受賞メーカー



Koppert

☆大賞受賞者☆

結局 AI でのトータルコントロール コンセプト。



Blue Radix

☆大賞受賞者☆

こちらも AI 関係コンセプト。ポイントはプリバの機器との提携が主体ということ。プリバ自体がコンピューターシステムであるが、それぞれのシステムを統括的にコントロールする「ブレイン」だという説明であった。

日本ではカゴメが導入しているという。



* 以上、簡単なレポートですが、詳細をご希望のものについてはご連絡ください。

オランダウェブ

久保麻理